

【競技方法】

- (1) 本大会は、予選リーグ後、各グループの結果に応じて、『決勝トーナメント』・『下位トーナメント』にそれぞれチームが進出する。
- (2) 予選リーグの組み分けは、7月13日(土)の代表者会議で抽選により決定される。
- (3) 予選リーグの順位決定は、勝ち点の多い順とする（勝ち：3、引き分け：1、負け：0）。勝ち点と同じ場合の順位は、①得失点差、②総得点、③当該チーム同士の勝敗、の順に決定する。それでも決しない場合は、当該チーム同士の抽選で決定する。
- (4) 試合時間は40分とし、ハーフタイムのインターバルは5分間とする（20分・5分・20分 ※ランニングタイムで行ないます）。なお、トーナメントステージにおいては、規定時間内で勝敗が決しない場合、PK方式により勝者を決定する。ただし、決勝トーナメントの決勝戦においては10分（5分・5分）の延長戦を行ない、それでも決しない場合PK方式により勝者を決定する。

【競技規則】

- (1) 競技規則は、基本的にすべて日本サッカー協会発行の「サッカー競技規則2018/2019、8人制サッカー競技規則」に準ずる。
- (2) **各チームは試合開始10分前までに、当該試合のメンバー表2部（本用部・相手チーム用）を主審に提出すること。**
- (3) 試合に出場する8人の競技者を含めて、試合に出場できる人数は16人以内とする。交代要員は試合に出場していない8人となり、自由交代を適用する。
またベンチに控える交代要員は、ピブスもしくは両チームのユニフォームと異なった色のウェアを着用すること。
- (4) いずれかのチームが試合開始時6人未満の場合、試合は開始されない。また、試合中に退場選手が発生し出場可能選手が6人未満となった時点で試合は中止される。（試合結果は0-3で当該チームの敗戦）
- (5) 本大会において、警告を2回受けるもしくは退場を命じられた場合は次の試合は出場停止とする。退場処分のうち「同一試合の間に2回の警告を受ける」、あるいは「決定的な得点機会を反則によって阻止する」などの理由による退場処分以外の場合は、その後の処罰について大会本部で協議を行ない、複数試合にわたる出場停止処分となる可能性がある。
※トーナメント2回戦までに受けた警告については、トーナメント3回戦以降持ち越さないが、トーナメント2回戦目で大会通算2回目の警告を受けた場合、もしくは退場処分を受けた場合は、次戦出場停止となる。
- (6) ピッチサイズは、縦68m×横50mを基本とする。ゴールは少年用サイズを使用する。
- (7) 大会使用球は、日本サッカー協会検定4号球を大会本部で用意する。**ただし、各チーム1個ずつ予備球を用意し主審に渡すこと。**
- (8) ユニフォームは色違いを2色用意し、背番号は必ず2着とも登録時の番号と一致させておくこと。
- (9) 一切のアクセサリや装身具は禁止で、テープで覆うことも禁止される。眼鏡の使用は認められないが、主審によって安全性が認められているスポーツ眼鏡の場合は着用が許される。
- (10) **参加選手は、所属チームにおいて全員スポーツ傷害保険に加入していること。大会の試合会場における傷害については、一切の責任を当該チームが負うものとする。**
- (11) 同一母体から複数チームが参加している場合、1人の選手は1チームにし所属できないものとする。また、事前に提出されたメンバー表から所属チームを変更する場合は、代表者会議開始までに大会事務局へ届け出を行なうこと。この段階で、試合への出場がないとしても本大会における所属チームが確定したものとし、負傷・出場停止などいかなる場合にも1人の選手が2チーム以上にまたがって所属することは認められない。万一違反した場合は、その母体から出場しているチームすべて失格扱いとする。
- (12) 参加チームに大会競技規則に反するなんらかの不正が確認された場合、当該チームはその時点で反則負けとし、その試合結果は（0-5で当該チームの敗戦）とする。
- (13) テクニカルエリアでは、ただ一人のチーム役員あるいは監督のみがチームへの指示を許される。また、監督以外の者は常にベンチや椅子に着席していなければならない。
- (14) 各試合におけるベンチの位置は、以下の通りとする。
予選リーグ：予選リーグ組み合わせ番号が若いチームのベンチを原則としてメインスタンドからピッチに向かって左側に設置する。
各トーナメント：トーナメントの山組みにおいて、山組みの左側のチームを原則としてメインスタンドからピッチに向かって左側に設置する。
- (15) 暑熱下において前・後半の途中で飲水タイムを採用する。飲水タイムの有無を前・後半開始前に主審より両チームへ通告する。
- (16) 【試合の中断及び中止の判断について】
・悪天候等で試合を中断する場合、中断の判断は主審が行なう。
・悪天候等で試合を中止する場合、中止の判断は競技委員が行なう。
・試合開始の笛が鳴った後で、何らかの理由で試合が中止となった場合、中止時点でのスコアを試合終了のスコアとする。
（トーナメント時、同点で試合中止となった場合は、PK戦が可能な場合のみPK戦を行なう。）
※上記以外の理由で試合を中断もしくは中止した場合の結果は、競技委員にて話し合いを行ない、競技委員長が決定する。
- (17) どんなプレーに関しても常にフェアプレーを心掛けること。
- (18) **試合中、選手、指導者および観戦者による審判の判定に対する過度の異議や抗議もしくは対戦チームへのリスペクトの精神を欠く暴言・行動が認められた場合、大会本部で協議の上、チームに対して何らかの処分を下す場合がある。**
- (19) 上記に該当しないケースの違反が発生した場合、大会本部で協議の上、チームに対して何らかの処分を下す場合がある。

【表彰】

- (1) 表彰対象は、決勝トーナメントの優勝、準優勝、3位（×2チーム）とする。
 - (2) 個人賞は、最優秀選手賞（MVP）、得点王、優秀選手賞（16名）とする。
- ※表彰対象チームに授与するメダル数は、16個を上限とする。
※決勝トーナメントのベスト8と、下位トーナメントの優勝チームには賞品のみ授与される。
※得点王は決勝トーナメントに進出したチームの中で、予選、トーナメントを通じて最も得点を取った選手に与えられる。
得点数が同一の場合は、より上の成績をおさめたチームに所属している選手を得点王とする。

【審判】

- (1) 主審は大会本部から派遣するが、副審2名は大会事務局が決定した大会プログラムP9に記載された「副審試合割り当て表」に従い、各チームから1名（子供は不可）派遣すること。なお、審判服着用を原則とする（審判着がない場合は黒地・または濃紺のウェアでも可）。
※派遣される副審の方の審判資格は、必須ではありません。トーナメントステージにおいても副審の割り当てがあります。
- (2) 副審は担当試合15分前までにピッチに集合すること。万一遅れた場合、1試合目は警告を与え、2度目からの処罰は大会本部で協議のうえ決定する。

〔フレンドリーマッチについて〕

各トーナメントの2回戦までに敗退したチームは、大会3日目の7月15日に開催されるフレンドリーマッチに参加することができる。
詳細に関しては大会プログラムP37を参照。

※事情により上記内容から変更がある場合は、7月13日(土)9時～の代表者会議にて連絡します。